

## 国土交通省災害機械操作訓練の報告

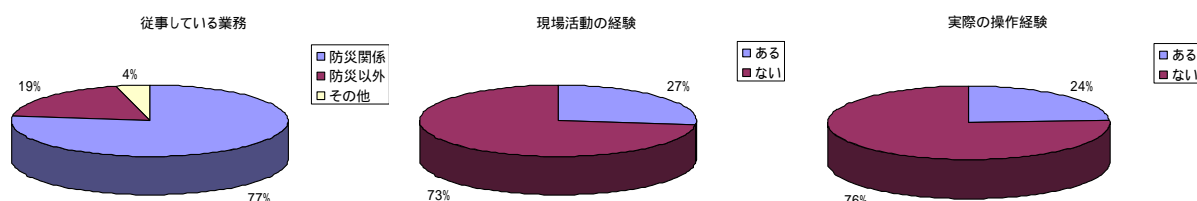
平成18年6月27日に国土交通省静岡県内事務所の合同災害対策機械操作訓練を、そして、平成18年7月4日には静岡国道事務所独自で災害対策機械操作訓練を実施しました。本年は両訓練ともに、訓練の様子を見学可能として、静岡県や静岡市の防災担当の機関に呼びかけたところ27名の見学者があり、合わせて延べ約90名が日差しのきつい中熱心に訓練や見学を行いました。

見学者の中には、一緒に訓練に参加した機関もあり、災害対策機械操作への関心の高さを実感した訓練となりました。

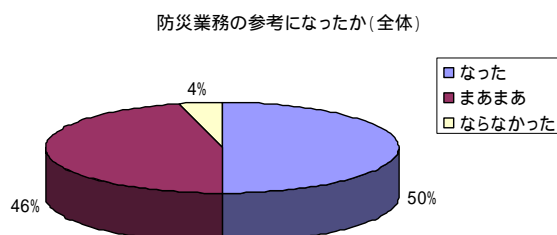
今回、訓練結果に対する見学者の方のアンケート結果がまとまりましたので、概要を報告します。

### アンケート結果

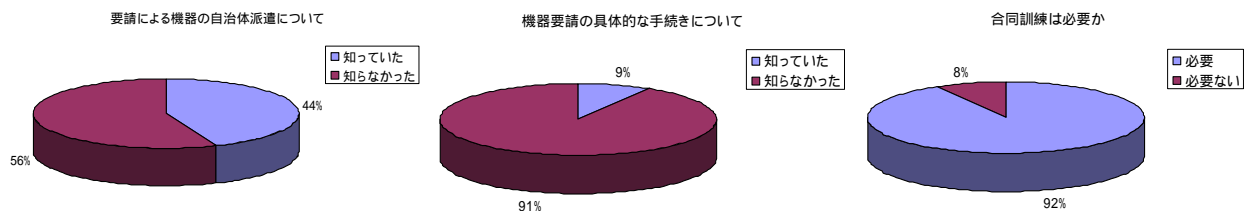
今回、見学に来ていただいた方の8割は、何らかの防災業務を担当している方でしたが、実際に現場活動の経験のある方は、3割弱。災害対策機械の操作の経験のある方は、2割程度でした。



今回の訓練は参考になったかという問いには、まあまあを合わせて9割以上の方が参考になったとの回答でした。



国土交通省の災害対策機械は、地方自治体から要請があれば派遣することができることについての問いには、派遣可能なことを知っているのは4割でしたが、詳細な手続きを知っていると答えた方は、1割でした。また、合同訓練の必要性を尋ねたところ、9割以上の方から必要という回答がありました。



### 訓練写真

訓練の全景 ( 6 / 27 )



排水ポンプ車の訓練風景 ( 6 / 27 )



Ku-SAT ( 衛星小型画像伝送装置 ) 設置、排水ポンプへのホース取付訓練の様子 ( 6 / 27 )



照明車の操作訓練の様子（6 / 27）



災害対策本部車の紹介（6 / 27）



衛星通信車の紹介（7 / 4）



また、意見の中には、「排水ポンプ車で実際に排水する実働訓練が見たい。」「かなりの訓練をしないと扱いに慣れるには手間取りそうであることがわかった。」等の意見が出されました。

静岡国道事務所としては、以上の意見とアンケート結果を参考に、今後も益々地域支援を視野に入れた防災活動を行うべく努力していきたいと考えております。